平成24年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月４日

上 場 会 社 名　　焼津水産化学工業株式会社　　上場取引所　　東
コ ー ド 番 号　　2812　　URL　http://www.yskf.jp
代　　表　　者　(役職名)代表取締役社長　　(氏名)山本　和広
問合せ先責任者　(役職名)経営統括本部 経理部長　　(氏名)原田　融　　(TEL)054(202)6044
四半期報告書提出予定日　　平成23年11月11日　　配当支払開始予定日　　平成23年12月２日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　有(証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

１．平成24年３月期第２四半期の連結業績（平成23年４月１日～平成23年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年３月期第２四半期	10,255	△4.0	564	1.6	601	6.3	355	23.8
23年３月期第２四半期	10,680	－	556	△40.8	566	△43.7	286	△54.1

（注）　包括利益　　24年３月期第２四半期　　418百万円(199.8%)　　23年３月期第２四半期　　139百万円(－%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
24年３月期第２四半期	25.27	－
23年３月期第２四半期	20.41	－

(注)23年３月期第２四半期の売上高対前年同四半期増減率は、会計方針の変更に伴い遡及修正が行われたため、記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年３月期第２四半期	21,146	17,595	83.2
23年３月期	20,801	17,345	83.4

（参考）　自己資本　　24年３月期第２四半期 17,595百万円　　23年３月期 17,345百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
23年３月期	－	10.00	－	12.00	22.00
24年３月期	－	10.00			
24年３月期(予想)			－	12.00	22.00

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成24年３月期の連結業績予想（平成23年４月１日～平成24年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	21,045	△5.7	1,270	18.0	1,345	18.7	740	233.0	52.67

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

４．その他

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　無
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
新規　　ー社（　　）、除外　　ー社（　　）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無
②　①以外の会計方針の変更　　：　有
③　会計上の見積りの変更　　：　無
④　修正再表示　　：　無

（注）詳細は４ページ「２．サマリー情報（その他）に関する事項　（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 」をご覧下さい。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年３月期２Ｑ	14,056,198株	23年３月期	14,056,198株
②　期末自己株式数	24年３月期２Ｑ	5,529株	23年３月期	5,339株
③　期中平均株式数（四半期累計）	24年３月期２Ｑ	14,050,797株	23年３月期２Ｑ	14,050,911株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P３「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
（４）追加情報 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 11
（５）セグメント情報等 …… 11
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間（自 平成23年４月１日 至 平成23年9月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興に伴い回復の兆しがあるものの、円高の進行やユーロ圏の財政問題による海外経済の減速懸念が浮上し、先行きに対する不透明感が強まっています。

食品業界におきましても、原材料価格が上昇傾向にあるなか、放射能汚染問題や低価格志向による価格競争の激化など、依然として厳しい収益環境が続いております。

このような中、当社グループは３ヶ年中期経営計画『チャレンジ & グロース』（挑戦と成長）の中間期として、利益を重視した筋肉質な企業体質の構築を目的に経営施策を遂行してまいりました。

具体的には、新規取引先への営業強化や不採算製品の見直しを行うとともに、生産効率の改善や経費削減を徹底し、採算性の改善など経営基盤の強化に取り組みました。

事業別では、調味料事業は、得意とする水産系調味料のシェアアップに注力するとともに、独自の加工技術を取り入れた差別化製品を展開しました。機能食品事業のうち機能食品は、子会社のＵＭＩウェルネス㈱が「コラーゲンゼリー」を新発売し、基幹商品の育成を図りました。機能性食品素材は、飲料や美容分野など新たなマーケットへの配合提案を積極的に推進しました。海外事業は、円高による価格競争力の低下や放射能問題による日本製食品に対する諸外国の輸入規制などから拡販計画に遅れが生じていますが、国内の海外進出企業への営業を強化しました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は102億55百万円(※)（前年同四半期比４億24百万円、4.0%減）となりました。利益面におきましては、製造経費や販売費及び一般管理費の削減を推進し、連結営業利益は５億64百万円（同8百万円、1.6%増）、連結経常利益は６億１百万円（同35百万円、6.3%増）、連結四半期純利益は３億55百万円（同68百万円、23.8%増）となりました。

（※）水産物の問屋口銭に伴う取引については、従来、売上高及び売上原価に計上する方法（総額表示）を採用しておりましたが、当期より、売上高から売上原価を控除する方法（純額表示）に変更しました。売上高の会計処理の変更に関しましては４ページ（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。なお、当第２四半期の売上高を従来どおりの方法（総額表示）で算出した場合、14億97百万円増加し、117億53百万円となります。

	純額表示による売上高			総額表示による売上高		
	当第２四半期連結累計期間	前第２四半期連結累計期間	前年同期比	当第２四半期連結累計期間	前第２四半期連結累計期間	前年同期比
連結売上高	10,255百万円	10,680百万円	△424百万円	11,753百万円	11,302百万円	450百万円
うち水産物	1,410百万円	1,468百万円	△57百万円	2,907百万円	2,089百万円	817百万円

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

（調味料）

調味料事業は、国内消費の伸び悩みから需要は頭打ちの状況の中にありますが、当社が得意とする水産系調味料のシェアアップに取り組み、液体調味料、粉体調味料とも上昇傾向にあります。

この結果、調味料事業の売上高は40億３百万円（前年同期比１億８百万円、2.8%増）、セグメント利益(営業利益)は４億28百万円（同69百万円、19.3%増）となりました。

（機能食品）

機能食品事業における機能食品は、前期に引き続き一部取引先向け粉末製品の大幅な受注減があり苦戦を強いられる中、医療栄養食（レトルト）が震災による特需が加わり伸長しました。N-アセチルグルコサミンやアンセリンを始めとする機能性食品素材は、価格競争が激化する厳しい環境下、飲料や美容分野への配合提案による新規顧客の獲得に取り組みました。

この結果、機能食品事業の売上高は38億66百万円（同５億20百万円、11.9%減）、セグメント利益（営業利益）は４億66百万円（同42百万円、8.4%減）となりました。

（水産物）

水産物事業は、主にカツオ・マグロ加工製品の製造販売でありますが、国内消費低迷に伴い販売部門が伸び悩むものの、効率化や経費の削減により減収増益となりました。

この結果、水産物事業の売上高は14億10百万円（同57百万円、3.9％減）、セグメント利益（営業利益）は63百万円（同４百万円、6.7％増）となりました。

（その他）

その他事業は、各種ワサビ類他香辛料の製造販売、その他商品の販売です。香辛料は新たに大手量販店向けに採用されるも価格競争が激しく利益面には貢献出来ませんでした。

この結果、売上高は９億75百万円（同45百万円、4.9％増）、セグメント利益（営業利益）は37百万円（同３百万円、8.5％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ３億44百万円増加し211億46百万円となりました。流動資産につきましては、現金及び預金が９億19百万円が増加したものの、受取手形及び売掛金が１億90百万円、その他流動資産が１億96百万円減少したことなどから５億円増加の118億46百万円となりました。固定資産につきましては、期中の減価償却が設備投資を上回り有形固定資産が1億60百万円減少したことなどから1億55百万円減少の92億99百万円となりました。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ95百万円増加し、35億51百万円となりました。流動負債につきましては、未払法人税等が1億97百万円増加したことなどから２億90百万円増加の30億81百万円となりました。固定負債につきましては、長期未払金が１億７百万円減少したことなどから１億95百万円減少の４億69百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純利益３億55百万円から配当金１億68百万円支払後の利益剰余金が1億86百万円増加したことなどから、２億49百万円増加の175億95百万円となりました。

この結果、自己資本比率は83.2％となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は34億56百万円となり、前連結会計年度末比９億42百万円増加しました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第２四半期連結累計期間における営業活動の結果、増加した資金は12億52百万円（前年同期比12億21百万円増）となりました。この内訳の主なものは、長期未払金の減少１億７百万円（同１億６百万円増）などの減少要因に対し、税金等調整前四半期純利益５億97百万円（同１億28百万円増）、減価償却費３億47百万円（同30百万円減）、売上債権の減少１億91百万円（同72百万円増）、法人税等の還付１億79百万円（同１億79百万円増）などの増加要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第２四半期連結累計期間における投資活動の結果、減少した資金は１億４百万円（同２億68百万円減）となりました。この内訳の主なものは、定期預金の預入・払戻の差額で払戻資金が23百万円（同１億２百万円減）増加したものの、有形固定資産の取得による支出が１億23百万円（同３億60百万円減）となったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第２四半期連結累計期間における財務活動の結果、減少した資金は２億円（同１億39百万円減）となりました。　この内訳の主なものは、配当金の支払額１億67百万円（同１百万円減）などによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期の業績予想につきましては、平成23年５月13日に発表いたしました通期の業績予想の数値から変更はございません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（売上計上方法の変更）

連結子会社であるマルミフーズ株式会社における水産物の問屋口銭に伴う取引については、従来、売上高及び売上原価ともに計上する方法（総額表示）によっておりましたが、第１四半期連結累計期間より売上高から売上原価を控除する方法（純額表示）に変更しております。

この変更は当該取引の金額的重要性が増したため、営業成績をより的確に表示するために行ったものです。当該会計方針の変更については、遡及適用を行い、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前２四半期連結累計期間の売上高、売上原価はそれぞれ６億21百万円減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、前連結会計年度の期首に反映されるべき累積的影響額はないため、前連結会計年度の利益剰余金の期首残高に与える影響はありません。

（試験研究費の計上方法の変更）

提出会社である焼津水産化学工業株式会社における商品開発センター・調味料開発部の試験研究費について、従来売上原価に計上する方法によっておりましたが、第１四半期連結累計期間より販売費及び一般管理費に計上する方法に変更しております。

この変更は前連結会計年度中において、顧客ニーズに迅速に対応するために大幅な組織変更を実施し、研究開発本部を商品開発センターにしたことに伴い、より適切な期間損益計算を行うために行ったものです。当該会計方針の変更については、遡及適用を行い、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第２四半期連結累計期間の売上原価は62百万円減少し、販売費及び一般管理費は62百万円増加しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、前連結会計年度の期首に反映されるべき累積的影響額はないため、前連結会計年度の利益剰余金の期首残高に与える影響はありません。

（４）追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,347,530	4,267,308
受取手形及び売掛金	4,392,944	4,202,248
有価証券	176,934	160,218
商品及び製品	1,431,819	1,301,290
原材料及び貯蔵品	1,622,194	1,729,814
繰延税金資産	92,631	94,573
その他	292,364	95,444
貸倒引当金	△10,100	△4,100
流動資産合計	11,346,320	11,846,799
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,678,609	2,578,659
機械装置及び運搬具（純額）	1,456,918	1,315,749
土地	2,394,450	2,394,450
リース資産（純額）	50,106	56,142
建設仮勘定	18,165	89,057
その他（純額）	92,902	96,537
有形固定資産合計	6,691,151	6,530,595
無形固定資産	228,956	204,721
投資その他の資産		
投資有価証券	1,869,626	1,964,710
繰延税金資産	280,178	242,033
その他	419,550	365,312
貸倒引当金	△34,165	△7,772
投資その他の資産合計	2,535,189	2,564,283
固定資産合計	9,455,298	9,299,601
資産合計	20,801,618	21,146,400

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,883,176	1,888,145
短期借入金	20,495	65,677
1年内返済予定の長期借入金	140,000	140,000
リース債務	13,443	16,110
未払法人税等	58,698	255,764
未払消費税等	27,779	57,839
賞与引当金	153,075	217,296
役員賞与引当金	－	9,996
その他	494,042	430,503
流動負債合計	2,790,710	3,081,334
固定負債		
長期借入金	70,000	－
リース債務	46,711	49,518
繰延税金負債	22,450	21,378
退職給付引当金	376,202	356,412
長期未払金	139,296	31,996
その他	10,465	10,465
固定負債合計	665,126	469,772
負債合計	3,455,836	3,551,106
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,617,642	3,617,642
資本剰余金	3,414,133	3,414,133
利益剰余金	10,427,917	10,614,375
自己株式	△5,913	△6,058
株主資本合計	17,453,780	17,640,093
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△51,259	5,280
為替換算調整勘定	△56,738	△50,079
その他の包括利益累計額合計	△107,998	△44,799
純資産合計	17,345,781	17,595,293
負債純資産合計	20,801,618	21,146,400

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
売上高	10,680,705	10,255,847
売上原価	8,156,587	7,877,143
売上総利益	2,524,118	2,378,704
販売費及び一般管理費	1,968,059	1,814,020
営業利益	556,058	564,684
営業外収益		
受取利息	2,701	1,198
受取配当金	25,745	25,609
受取賃貸料	9,187	8,049
その他	18,533	39,055
営業外収益合計	56,167	73,914
営業外費用		
支払利息	537	520
匿名組合投資損失	24,337	16,743
為替差損	11,536	6,210
たな卸資産廃棄損	1,217	914
その他	8,403	12,361
営業外費用合計	46,031	36,750
経常利益	566,194	601,848
特別利益		
固定資産売却益	－	296
特別利益合計	－	296
特別損失		
固定資産除却損	12,577	2,653
投資有価証券評価損	－	2,299
退職給付制度改定損	85,049	－
特別損失合計	97,626	4,953
税金等調整前四半期純利益	468,567	597,191
法人税等	181,804	242,123
少数株主損益調整前四半期純利益	286,763	355,068
四半期純利益	286,763	355,068

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	286,763	355,068
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△127,520	56,540
為替換算調整勘定	△19,727	6,658
その他の包括利益合計	△147,247	63,199
四半期包括利益	139,515	418,267
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	139,515	418,267
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	468,567	597,191
減価償却費	378,629	347,780
退職給付引当金の増減額（△は減少）	78,950	△19,789
貸倒引当金の増減額（△は減少）	6,560	△32,393
賞与引当金の増減額（△は減少）	79,630	64,221
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	23,700	9,996
受取利息及び受取配当金	△28,446	△26,808
支払利息	537	520
為替差損益（△は益）	10,376	7,003
有形固定資産除却損	12,577	2,653
有形固定資産売却損益（△は益）	－	△296
匿名組合投資損益（△は益）	24,337	16,743
投資有価証券評価損益（△は益）	－	2,299
売上債権の増減額（△は増加）	118,629	191,173
たな卸資産の増減額（△は増加）	△447,738	23,869
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△9,734	△6,865
その他の固定資産の増減額（△は増加）	△10,056	54,194
仕入債務の増減額（△は減少）	△114,874	4,636
未払消費税等の増減額（△は減少）	△73,412	56,689
長期未払金の増減額（△は減少）	△435	△107,300
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△29,972	△83,081
その他	△1,446	△4,298
小計	486,378	1,098,138
利息及び配当金の受取額	28,446	26,808
利息の支払額	△656	△577
法人税等の支払額	△482,527	△51,016
法人税等の還付額	－	179,454
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,642	1,252,807
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,022,358	△652,345
定期預金の払戻による収入	1,147,378	675,350
有価証券の取得による支出	△33	△27
有形固定資産の取得による支出	△483,611	△123,436
有形固定資産の売却による収入	－	435
無形固定資産の取得による支出	△11,673	△1,756
投資有価証券の取得による支出	△2,526	△2,585
その他	120	△250
投資活動によるキャッシュ・フロー	△372,705	△104,613

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	22,263	45,182
長期借入金の返済による支出	△187,500	△70,000
自己株式の取得による支出	△42	△144
配当金の支払額	△169,562	△167,675
リース債務の返済による支出	△4,890	△7,488
財務活動によるキャッシュ・フロー	△339,732	△200,126
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13,113	△5,283
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△693,908	942,783
現金及び現金同等物の期首残高	2,948,709	2,513,579
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,254,800	3,456,362

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報等

〔セグメント情報〕

Ⅰ 前第２四半期連結累計期間(自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他(注)１	合計	調整額(注)２	四半期連結損益計算書計上額(注)３
	調味料	機能食品	水産物	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	3,895,713	4,387,028	1,468,009	9,750,751	929,954	10,680,705	―	10,680,705
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	7,900	5,775	7,562	21,238	79,162	100,400	(100,400)	―
計	3,903,613	4,392,803	1,475,572	9,771,989	1,009,116	10,781,106	(100,400)	10,680,705
セグメント利益	358,779	508,822	59,841	927,443	41,116	968,560	(412,501)	556,058

(注) １．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種ワサビ類他香辛料、その他商品であります。

２．セグメント利益の調整額412,501千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務、経理部門等管理部門に係る経費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間(自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他(注)１	合計	調整額(注)２	四半期連結損益計算書計上額(注)３
	調味料	機能食品	水産物	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	4,003,848	3,866,561	1,410,148	9,280,559	975,288	10,255,847	―	10,255,847
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	46,519	12,384	8,528	67,432	73,918	141,351	(141,351)	―
計	4,050,368	3,878,946	1,418,676	9,347,991	1,049,207	10,397,199	(141,351)	10,255,847
セグメント利益	428,092	466,228	63,868	958,189	37,638	995,827	(431,143)	564,684

(注) １．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種ワサビ類他香辛料、その他商品であります。

２．セグメント利益の調整額431,143千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務、経理部門等管理部門に係る経費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

（売上計上方法の変更）

連結子会社であるマルミフーズ株式会社における水産物の問屋口銭に伴う取引については、従来、売上高及び売上原価ともに計上する方法（総額表示）によっておりましたが、第１四半期連結累計期間より売上高から売上原価を控除する方法（純額表示）に変更しております。

この変更は当該取引の金額的重要性が増したため、営業成績をより的確に表示するために行ったものです。当該会計方針の変更については遡及適用を行い、この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第２四半期連結累計期間の水産物の売上高は621,929千円減少しております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第２四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日)

該当事項はありません。